

希学園 第410回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第410回公開テスト 小5理科 解説動画(2026年7月12日実施)	https://vimeo.com/1208983530/bb74a89066

1

(1)	夏の 大三角	(2)	星A	星B	星C
			ベガ (カタカナ指定)	アルタイル (カタカナ指定)	デネブ (カタカナ指定)

(3)	星A	星B	星C	(4)	①	②	③
	ア	(完答) エ	ウ		ア	エ	A

(5)	(漢字 2 字指定) 七	夕	(6)	オ
-----	-----------------	---	-----	---

2

(1)	30 万 km	(2)	7.5 周分	(3)	①	②
					67 (cm)	142 (cm)

(4)	キ	(5)	図 2	図 3	図 4
			ア	ウ	エ

3

(1)	オタマジャクシ (カタカナ指定)		(2)	ウ	(3)	イ → ア → ウ (完答)				
(4)	え ら (ひらがな2字指定)		(5)	ア	(6)	ア	(7)	イ	(8)	イ
(9)	ウ	(10)	イ							

4

(1)	①	②	③	(2)	エ
	ア	(完答) ウ	イ		

(3)	図 1	図 2	図 3	図 4	図 5	(4)	エ
	エ	イ	ウ	ア	オ		

[配点] 1～3 各 3 点 × 2 8
4 各 2 点 × 8

1

(1) (2) (3) 星Aはこと座のベガ，星Bはわし座のアルタイル，星Cははくちょう座のデネブで，これらの3つの一等星を結んだものを夏の三角という。

(4) ① 東の空の星は，右ななめ上へ動いていく。

② 右図参照。北極星の高度は図の▲印で，▲は観測地点の北緯と等しい。

▲+90度+●=180度であることから，星の地平線からの出入り角(図の●印)は，

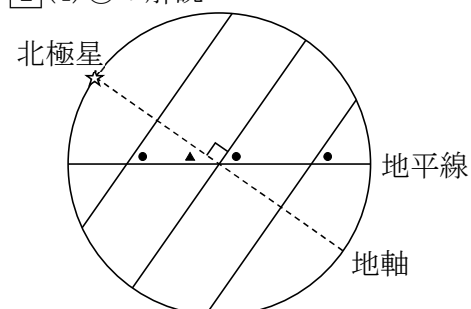
●=90度-▲=90度-北緯。

観測地点は北緯35度なので，90度-北緯35度=55度

③ ベガは天頂付近を通る。

(6) 1年を通して，星座の大きさや形が変わることはない。織女星と牽牛星の見かけの距離は，1年中同じである。

1(4)②の解説

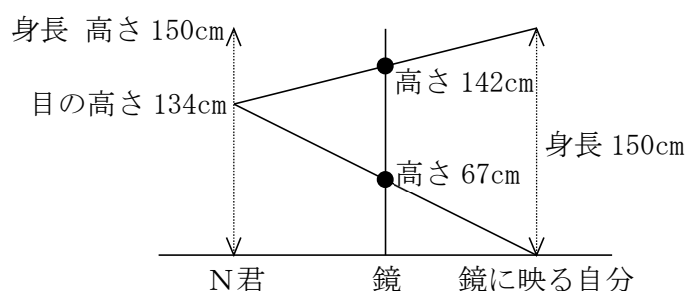


2

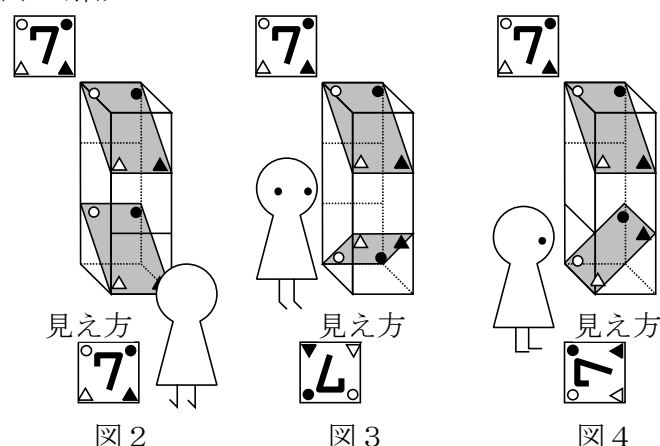
(1) $15000 \text{ km} \div 500 \text{ 秒} = 30 \text{ 万 km/秒}$

(2) $30 \text{ 万 km} \div 4 \text{ 万 km/周} = 7.5 \text{ 周}$

(3) の解説 鏡に対し線対称の位置に同じ大きさの自分の像が映る。



(5) の解説



(4) カードを裏から透かして見たような図になる。

3

(2) アマガエルは，成体のすがたで，木の根元や，落ち葉や岩の下にもぐりこんで冬眠する。

(3) (4) 後ろあしが大きくなったのち，前あしがえらの穴をつきやぶって出てくる。その後，尾がだんだん短くなっていく。

(5) あしの指に吸盤があることに注目する。ア=アマガエル，イ=ウシガエル，ウ=トノサマガエル，エ=ヒキガエル

(6) (7) アマガエルのオスは，のどにある鳴き袋をふくらませて鳴く。

(8) 多くのカエルは，エサを飲みこむときに目を閉じ，眼球を口に落としこんでエサをのどのおくへおしこむ。

(9) エサが手に入りやすい環境でまちぶせをしている。

(10) アマガエルは乾燥に強く発達した吸盤を持ち，整備されたコンクリート水路などに落ちてもよじ登ることができる。こういった性質により，環境変化の影響を受けにくいと考えられている。

4

(1) イネはデンプン，ゴマは脂質(油)，ダイズはタンパク質を多く含む種子である。

(2) カキは動物に実が食べられ，ふんとともに種子が運ばれる。カシの種子はどんぐりになり，下に落ちたのち，小動物や鳥が貯蔵するために運ばれる。ハウセンカの種子は実がはじけて飛び散る。マツの種子は風で運ばれる。

(3) 図1. トウモロコシは単子葉植物で，1枚の子葉が出る。

図2. エンドウの子葉は地中に残る。

図3. ダイズの子葉は，マメの形をしたものが地上に出る。

図4. アサガオの子葉はハート型をしている。

図5. ヒマワリの子葉は丸みのあるだ円形をしている。

(4) トウモロコシは有胚乳種子(発芽のための養分を胚乳にたくわえる)で，他はすべて無胚乳種子(胚乳がなく，発芽のための養分を子葉にたくわえる)である。